

< 4月例会レジュメ >

## 明治後期における報徳運動の拡大

### — 帝国農家一致結合の事例から —

森下想

本研究は、明治後期における報徳運動を分析し、特にその全国的な広がりを検討するものである。

従来、明治後期の報徳運動を扱った研究の大きな関心のひとつは、日露戦後に展開された地方改良運動であった。例えば報徳運動に関する先駆的な研究である奥谷松治『二宮尊徳と報徳社運動』（高陽書院、1936年）では、「明治三十八年に挙行された二宮尊徳翁五十年記念会が契機となり、尊徳主義は未曾有の流行を呈し、広汎に亘りその宣伝が行れ、静岡県以外の各地に於ても多数の報徳社の設立を見るに至った」（283頁）という古典的な見解が示された。これに続く宮地正人『日露戦後政治史の研究』（東京大学出版会、1973年）、見城悌治『近代報徳思想と日本社会』（ペリカン社、2009年）、並松信久『報徳思想と近代京都』（昭和堂、2010年）、足立洋一郎『報徳運動と近代地域社会』（御茶の水書房、2014年）等においても、報徳運動が地方改良運動において果たした役割ないしその実態の講究が進められてきた。そうした中で、地方改良運動は報徳運動史における重要な画期とする認識が形成されてきたのである。すなわち、見城が「信用組合法案提出時など、一時的に脚光を浴びた近代報徳思想であったが、基本的には特定の地域で流布・受容される存在に過ぎなかった。一方、「二宮金次郎」についても、明治中期において修身教科書教材に採り入れられるなど、徐々に認知されつつあったものの、誰もが知る存在とまではいえなかった。ところが、日露戦争に勝利した帝国日本が国内外の問題解決を処理する方途を探していく過程で、近代報徳思想は全国区存在へと躍進していくことになる。」（235頁）と述べたように、地方改良運動は報徳運動が俄かに全国へと躍進する契機として位置づけられてきたのである。

こうした地方改良運動における報徳運動の理解について、新たな視座を与える材料が帝国農家一致結合である。この団体は、1889年に静岡県周智郡の報徳運動家である中村和三郎によって設立された農事団体である。全国各地の農家間の種苗交換を円滑にすることを目的とし、機関誌を通じた種苗交換や農事に関する情報の媒介を主な業務とした。

帝国農家一致結合の着目すべき点は、当時の報徳運動と不可分の関係にあっ

筆者が、2019年10月3日に調査した折には、竜洋図書館、津倉邸、磐田市歴史文書館の地域一体による協力を得ることができた。磐田市歴史文書館の星井とし子氏の先々代の見本作品や商工会議所の記録からレース加工業開業の太田貢氏(現在は保護士である)に取材をした。太田氏が、「太田商店」として戦後昭和22年の先代から創業して平成7年まで続けたドロンウオーク業について語ったことをまとめた。(次号に続く)

## < 受贈誌の紹介 >

### ○『近代熊本』41

「佐田介石と浅田宗伯の交流」(梅林誠爾)、「『熊本評論』と土地・農民問題」(鈴木つむぎ) 他

### ○『地域と社会』17 (佐藤弘)

「山梨県郡内地方における学童集団疎開の受け入れの展開」(蒲原まゆみ)、「日韓歴史教育交流シンポジウム IN 山梨」の報告」(鮎澤譲)

## 例会のお知らせ

### < 4月例会 >

日時：4月18日(土) 14:00~17:00  
場所：Web 会議システム ZOOM/鎌倉文庫  
申込方法：本誌2ページをご覧ください。  
内 容：明治後期における報徳運動の拡大  
— 帝国農家一致結合の事例から —  
報告者：森下想氏 (名古屋大学大学院)

### < 5月例会 >

日時：5月16日(土) 14:00~17:00  
場所：Web 会議システム ZOOM/鎌倉文庫  
申込方法：5月会報に掲載します。  
内 容：文化財としての大日本報徳社  
報告者：足立洋一郎氏 (本会会員、公益社団  
法人大日本報徳社報徳文化研究所  
研究員)

### < 新入会員の紹介 > (敬称略)

・望月浩司

### < 会報に原稿をお寄せください >

会報原稿を募集しています。短いものでも結構ですので、ぜひご寄稿ください。会報原稿は、下記のアドレスにメールで送ってください。但し、掲載号については会報編集担当者にお任せください。どうぞよろしくお願いいたします。メールアドレス：cqh00053\*nifty.ne.jp (\*は@に変えてください。会報編集担当 川上) 異動の季節です。住所等が変わった際には、すみやかにご連絡ください。

### 静岡県近代史研究会会報 第571号 (月刊)

2026年4月10日

非売品 (非会員は印刷実費100円)

連絡先 〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

静岡県立大学 国際関係学部 森山優研究室

電話：054-264-5386 (直通)

年会費：4,500円 (メール会員は3,500円)

ゆうちょ銀行払込口座：00850-6-54573

ホームページ：

<https://shizuokakenkindaishi.wordpress.com/>